

令和4年7月10日執行

滋賀県知事選挙選挙公報

滋賀県選挙管理委員会

三期目の 新たなチャレンジ

コトにみず、みんなでつらく！健康しが



プロフィール

- 大津市立日吉台小、日吉中学校卒業
- 県立膳所高等学校卒業 ●一橋大学経済学部卒業
- 1994年 JR西日本入社 ●2002年 松下政経塾入塾
- 衆議院議員4期連続当選 (国土交通大臣政務官、国土交通副大臣等)
- 2014年 滋賀県知事に就任
- 2018年 滋賀県知事(2期目)

未来へと幸せが続く「健康しが」づくりに挑戦中

HP www.genki1.com

facebook 三日月大造

ひとづくり

- 子ども・子ども・子ども ●生まれる前からの切れ目のない子育て支援、困難を抱える子どもへの支援(4か所目の子ども家庭相談センター新設等) ●ICT活用による「生きる力」、「確かな学力」の向上 など
- 人材の育成と確保 ●高専づくりの準備促進、学び直し、企業(起業)・農林水畜産業・防災・地域づくり・医療福祉の人材 など

ひとの健康

- 文化・芸術やスポーツを通じた元気づくり ●新文化館検討、びわ湖ホール大改修、「近江の城1300」魅力発信 ●国スポ・障スポ、新マラソン・全国中学駅伝の実施、eスポーツ など
- “魅力ある公園”づくり
- 健康づくりの推進、メンタルヘルスケアの充実
- 先を見据えた感染症対策
- 医療提供体制づくり ほか

自然の健康

- CO₂ネットゼロ ●ゲームチェンジ(ライフスタイル・地域づくり転換)、脱炭素先行地域でのチャレンジ、再エネの更なる普及、イノベーション創出 など
- やまの健康2.0 ●林業成長産業化、森林整備、農山村活性化、植樹祭レガシー など
- 琵琶湖の保全再生 ほか

社会・経済の健康

- 地域公共交通の充実 ●「(仮称)滋賀地域交通ビジョン」づくり、交通ネットワークの維持強化 など
- 社会資本の着実整備 ●みち(道路)・みず(河川)・まちづくりの推進、物流機能の強化 など
- コロナ禍からの経済回復の支援 ●中小企業支援、こだわり農業・儲かる漁業・近江牛の振興、「シガリズム」 など
- 滋賀の活力づくり、ピワイチの推進 ●大阪・関西万博への参画、人口減少地域の創生支援、女性活躍の推進 など
- 次世代の滋賀の産業づくり、安全・安心の社会づくり ほか

「健康しが」の基盤づくり

- より良き自治の追求 ●図書館の機能とネットワークの充実(「(仮称)こどもとよかん」設置検討等)
- DX(デジタルトランスフォーメーション)推進、行財政基盤強化 ほか



み か づ き た い ぞ う

三日月大造

無所属

51才

小西きよつぐのお約束

2つのSTOP

新たに県民負担「交通税」導入

●県立3病院民営化

- 中学校卒業までの医療費無料化
- 学校給食費の無償化
- 加齢に伴う難聴 補聴器購入に補助
- 原発廃炉 再生可能エネルギーへ転換
- 大戸川ダム中止 簡素な国スポに

529の実現

知事が代われば暮らしがよくなる



国スポに545億円、1キロ100億円の彦根のトンネル工事：無駄使いが多すぎます。大切な税金をい

のちと暮らし・福祉と教育を伸ばす予算に優先して使

えば、県民の切実な願いは実現できます。

新しい知事は

小西きよつぐ

喜代次

日本共産党

憲法を守り 暮らしに生かす県政へ

参院選といっしょにたたかわれる知事選挙。新しい知事に求められるのは…

国の悪政にモノが言える知事

年金引き下げ、医療費窓口負担2割に、軍備拡大のために社会保障費切り捨てなど国の悪政が県民生活を苦しめている時だからこそ、国にキチンと意見を言える知事が必要で

県民の願い・声に寄り添う知事

コロナ禍のもとで、異常な物価高騰が暮らしと営業に深刻な影響をおよぼしています。特別支援学校(養護学校)の超過密・マンモス化解消も切実です。切実な要求に耳を傾け、寄り添い、願いの実現に力を尽くす知事が必要です。

前甲賀市議(3期)、元滋賀民医連事務局長、元安破楽県実行委員会事務局長など歴任。甲賀市信楽町在住。



小西

日本共産党公認

きよつぐ

投票日 7月10日(日)

※期日前投票・不在者投票の投票期間は、6月23日(木)から7月9日(土)までです。(告示日の翌日)(選挙期日の前日)

この選挙公報は、候補者から提出された原稿をそのまま印刷したものです。